

1. 全体総括

ねらいについて、事後アンケート結果では、事後アンケート結果では「達成された」「達成されなかった部分があった」のみの回答であったため、概ね達成されたと考えられる。

第1回避難訓練からの課題である「おはしも」の「し」については、第2回の事前指導において各学級で児童と意識を高めたことで改善が見られた。しかし、全ての場所で無言を達成できた訳ではないので、今後も避難訓練における大切なポイントとして「おはしも」への意識を高めていきたい。また、「危ない場所から離れる」点については、第2回の事前指導の際に第1回目の避難訓練での良い姿を動画で共有したことで、火元から離れる意識を行動につなげることができた。動画でめざす姿を共有することは来年度も引き続き行っていきたい。

第2回の避難訓練では、外で過ごしていた児童が多く、放送がなったタイミングで動くことを優先する姿が見られた。地震における倒壊の危険がある場所から離れることは優先すべきだが、「放送を聞く」ことについては確認をしていく必要がある。

また、今年度の変更点である出席番号順の並び方や来年度ぞうさんタッチが無い可能性があることから集合場所の検討を今年度中に行い来年度に引き継いでいく。さらに火元については、本年度は理科室であったため、来年度は理科室以外で検討していくようにする。

2. 第2回予告なし避難訓練 事後アンケート結果（教員）

(1) ねらいは達成できたか。

【達成できていた】

- 「おはしも」を守ろうとした。
- 自分たちの命を守ろうとした。
- ダンゴムシで身を守っていた。
- 放送がなってからも、落ち着いて行動することができた児童がほとんどであった。
- 自分たちで危険な場所から離れたルートを選んで避難していた。
- 前回の反省で出た屋外に出るからの動きに改善が見られ、「はばたきの森」方向へ避難できた。図書室や教室にいた人たちも、本で頭を守るなどっさの判断ができていた。

【達成されていない部分があった】

- 前回より意識はできていた。
- 担当の1・3・5年生昇降口には1人もいなかった。
- 頭や体を守るポーズはしっかり身につけている。
- クラスでの振り返りでは、「し」に課題があると自分をとらえている児童が数人いたようだ。
- 「きた」等と言う姿があり、「おはしも」の「し」が達成できていない部分があった。

(2) 児童の避難訓練の仕方について来年度への引き継ぎとして必要なことがあれば教えてください。

- 自分の判断を促すため、火元を変えても良かった。
- 第2回のように、事前指導の時に火場所を踏まえた避難経路を想定させるようにする。
- 危険な場所から離れて避難している子の動画は、とても効果的だった。来年度も事前指導として使えそうに思う。

○今年度同様、避難の時に使える出口を確認しておくが良い。

●運動場では音が鳴った瞬間動いていた。「まず聞く」を徹底すべき。

●「予告なし」と言いつつ、「今週中」という指示があるため全くしない場合も考えても良い。(事前指導との兼ね合いがあるが)

(3) その他お気づきの点

・避難訓練に限らず、運動場での水筒の置き場所を検討すべき。

→ 遊びのルールに関係するので生活指導部と検討

・本年度並び方を出席番号順にしたが、どうだったか検討すべき。

→ 基本出席番号順で来年度に引き継ぎ

・ぞうさんタッチの撤去への対応

→ 基本集合場所は変えず、来年度赴任した先生や1年生にもわかるネーミングを考え、各クラスで周知する(例：砂場前)